

## ごみ出しルールを守って正しい分別を

ごみを出すときは、次の4つのことを必ず守りましょう。

### ごみ出しの4つのルール

- ◆決められた日の決められた時間までに（前日から出さない）
- ◆決められたごみだけを（ごみ収集カレンダーで確認して当日のごみだけを出す）
- ◆決められた方法で（他のごみを混ぜない・透明または半透明の袋で出す）
- ◆決められた場所に（自治会などで決められた集積所に出す）

### こんなごみはどのように出したらいいの？

#### 草や庭木の剪定ごみ

草…土を取り除いて、透明・半透明の袋に入れて「燃やせるごみ」の日に出してください。

枝や幹…長さ1m・太さ5cm以内に切って、ひもなどで縛り、葉が散乱しないように「燃やせるごみ」の日に出してください。\*太さ5cmを超える樹木は、「燃やせないごみ」の日に出

してください。

#### 木製の家具（たんす・食器棚・机など）

1m以内に壊し、ガラスや金属部分を取り外して「燃やせるごみ」の日に出してください。取り外したガラス・鏡などは「燃やせないごみ」の日、金属部分は「金属」の日にごみ集積所へ出してください。

## チャレンジ!緑のカーテン作り

夏の暑い日は、家の外壁などに直接日光が当たって温度が上がり、夜中になっても室温が下がらず寝苦しい夜になることがあります。そんな暑さを少しでも和らげるために、緑のカーテン作りにチャレンジしてみませんか。

緑のカーテンとは、ゴーヤ、アサガオなどの

つる性植物で作る自然のカーテンのことです。窓の外や壁面を覆えば、夏の強い日差しを遮ります。同時に、葉から水分が蒸発する蒸散作用で周りの温度を下げる効果があります。

また、ゴーヤやヘチマなどは収穫できる楽しみもあり、おすすめです。

### 緑のカーテンの作り方・育て方 ~ゴーヤ編~

#### 用意するもの

- 支柱 ネットを固定するために使用します。
- ネット 設置スペースに合った大きさで、網目は10cm程度がおすすめです。
- プランター 深くて大型のもの(地植えでも構いません)
- 土 野菜用の「培養土」がおすすめです。
- 肥料 敷きわらや油かすが良いでしょう。化成肥料の場合は遅効性のものを使いましょう。

#### 作り方

##### ①土を準備する

水はけを良くするため、小石などをプランターの底に敷きましょう。押し込まず、ふんわりと空気を入れるように土を入れてください。

##### ②プランターに植える

種または苗を20~30cmの間隔を空けて植えてください。地植えの場合には、もう少し広く間隔を空けましょう。

##### ③ネットを張る

つるがある程度伸びてきたらネットを設置し

てください。この時、支柱や重石を使ってネットが倒れないように固定しましょう。

#### 育て方

- 水やり 水やりは毎日しましょう。真夏は朝と夕方の2回程度がおすすめです。
- 追肥 2週間に1度くらいの間隔で肥料をやるとうまく育ちます。肥料のやり過ぎは枯れる原因になるので注意しましょう。
- 摘芯 本葉が8~10枚程度出たら親づるの先を切りましょう。子づるが伸び出し全体に広がるので、よりカーテンらしくなります。

#### 来年に向けて

花や実を楽しんだら、来年のために種を取っておくと良いでしょう。種は赤い種衣に包まれているので水で洗い流し、風通しの良い日陰で乾かしてから、茶筒などの密閉容器に入れて涼しく乾いたところに保管してください。

